

ICTを活かし新たなコミュニケーションを創出する メディアデザイン



研究概要

キーワード ビジュアル・インフォメーション・デザイン／メディアデザイン／視覚文化研究

ICTを活かし豊かな地域文化を創出し、付加価値を創るためにデザイン力が求められています。

出原研究室では、CGやWeb、AR(拡張現実)、モバイル端末などのメディア、インタラクティブ技術、そしてデザインの力を活かして地域文化を豊かにし、街・文化・人をつなぐ新たなメディアの創出を実践的に考えます。



図1

金沢駅「鼓門」

プロジェクションマッピング

金沢の新たな夜のにぎわい創出を目的とした、鑑賞型と参加型のプロジェクションマッピングの企画・開発を実施。



図2

加賀友禅デジタル染め
体験システム

深度センサを用い布を手で触れるだけで、加賀五彩による友禅らしいぼかし染めのデジタル体験ができるシステムを開発。

今後の展開や メッセージ

これまでの実績を踏まえて、メディア技術を活用したコミュニケーション手法を開発していきたくと考えています。

研究者情報



出原 立子 教授・博士(芸術工学)

情報フロンティア学部 メディア情報学科
所属研究所：感動デザイン工学研究所(副所長)

東海大学理学部情報数理学科卒。武蔵野美術大学大学院造形研究科基礎デザイン学コース修士課程修了。神戸芸術工科大学視覚情報デザイン学科助手。神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科博士課程修了。2004年本学講師就任。准教授を経て、2015年現職。

研究者情報URL

<https://researchmap.jp/read0201738>